

「子育て支援教育カウンセラー」に期待する事

○小笠原 美知子

幼稚園で保育カウンセラーをしていると、保護者から子育ての相談を受けることがあります。ちょっとした悩みが大きくなる前に一緒に考えていくことで、保護者は自信を取り戻していきます。乳幼児期に安心できる環境の中で生きる楽しさを感じることはとても大切で、その後の人生に大きな影響を与えていくと思うのです。生きていく基礎を作る乳幼児期を支援する『子育て支援教育カウンセラー』が、保育の現場で大きな力になっていくことを心から期待しています。

○櫻田 啓子

現在、私はスクールカウンセラーとして小・中学校で勤務しているなかで、子どもたちの早期の適切な対応が重要だと感じています。今後は幼児期からの子育て支援教育カウンセラーの現場での活用と、子育て支援教育カウンセラーからの積極的なアプローチで、一番困っている子どもたちとその周囲も安心して過ごせるようになるのではと期待しています。

○直山 昌子

最近、保護者支援・子育て支援の必要性を感じる悲惨な報道の増加に対し、従来の教育カウンセリングの幅を広げ、更なる子育て支援に関する専門的な知識を得、子育て支援教育カウンセラーの資格を取得できることは、保育現場や地域の子育て支援活動への具体的な支援に繋がり、期待できることと思っています。

○武田 美知子

昨今色々な所で『子育て支援』の必要性が語られ、学ぶ機会も多種多様になりました。そのような中で、日本教育カウンセラー協会、幼児教育と保護者対応を学び「子育て支援教育カウンセラー」の資格が取れる講座ができたことはとても喜ばしいことだと思います。

教育の枠組みの中で、構築された理論と、技法を学ぶ仲間が増えることを期待します。

○鈴木 裕子

日本教育カウンセリング協会において「子育て支援教育カウンセラー」の資格が認定されることは、乳幼児期の大切さを広く認識して頂く機会になり、意義のあることと嬉しく思っております。

支援者にとっては専門的知識と技術を習得することで、子どもの理解を深め、家庭での子育てや保育現場で困難さを感じている方々に対応する力を身につけることができ、大きな強みと励みとなります。

子どもを取り巻く環境が時代とともに変化し様々なニーズに答えていくためには、資格取得後も主体的な学びと自分自身のスキルアップに努めながら、強い責任感とより高い理想を持ち続け、仲間と共に成長していくことが大切と考えております。

○棟方 ふみ子

私は、保育者として保育の現場にいましたが、その経験を活かしながら、現在は近隣のファミリーサポートセンターで提供会員養成講座のお手伝いをしております。子育て支援教育カウンセラーの資格を取得することでより専門性を高め、提供会員の皆様がより子ども達や保護者に寄り添った支援ができるようにサポートできればと考えています。

○黒田 貴子

ハンセン病施設にて介護福祉士として精務した10年を終え、保育士免許を取得するため青森明の星短期大学に入学したのは、{子育て支援}が最重要課題であると認識したからです。

学び直しからキャリアアップが実現し、保育士として働く現在は、保護者支援も大事な仕事となっています。「子育て支援教育カウンセラー」の資格を取得し、スキルアップしていく事で、より深く重厚な支援ができるものと考えます。

更に学びを続け、福祉を的確に捉えながら、柔軟に子育て支援を行っていきたいと思っています。